INFORMATION & OTHERS

モトクロスはライダーとお客さんが主役です！

今大会の会場「スポーツランドSUGO」は、ハイスピードエリアとテクニカルなセクションが混在する全日本きっての難コース。深いワダチができるコーナーも大きな特徴で、その攻略が勝敗のポイントになる。梅雨真っ只中の開催だけに天候も気になるところ。小雨ならツルツルの路面が本降りになれば一気に泥の海と化す。独特のコンディションが走り慣れた地元勢に有利に働くかどうか、先ずは注目して欲しい。

全日本会場の中でダントツと言っていいほど観戦スタンドやトイレなどの施設が充実しているのもこのコースのポイント。IA 第 1 ヒート開始前にはスタート横で選手紹介が行われるので、出陣するライダーたちに声援を送ってから、好みの観戦ポイントに移動しよう。

一カ所に陣取って全体が見たいならヤマケンビッグジャンプ横の観戦エリアが、コースサイドでライダーに声援を送るならスネークコーナーの入り口がオススメです。

次にライダー識別の基本、ゼッケンの色について。これはクラスごとに違っていて、今年から IA1 が白地に黒文字に変更となりました。逆に黒字に白が IA2、青地に白が IB、IA1と同じ白地に黒で車体の小さなマシンが LMX、以下ジュニアクラスは赤地に白、チャイルドクラスは白地に赤文字となってます。マシンのカラーは基本ホンダが赤、ヤマハは青、スズキが黄色、カワサキが緑。KTM がオレンジでハスクバーナが白。そんな中、IA1 の成田選手と IA2 の横山選手が使用する赤地のゼッケンは、レッドプレートと言ってポイントランキングトップの証です。

実況放送がよく聞こえないという方、フィニッシュ横の電光掲示板に上位のゼッケンが表示されますが、予選、決勝を通じ、スマートフォンで「CHECKLAP」というサイトに接続すれば全体の順位やタイムをリアルタイムで見ることができます。

ここまで読んで ???? となってしまった方、入場の際にもらった公式プログラムをもう一度見直してみてください。コース上を走るライダーのゼッケンとマシンの色、プログラムのエントリーリストを見比べると、徐々にどれが誰だか分かるようになってくるハズ。外見でライダーの区別ができるようになると、凸凹県出身の ×× 選手は△色のマシンでゼッケンは□色の○番…と逆引きもできて、予選、決勝レースが何倍も楽しくなります。

メカニックさんにも聞いちゃいました！

大倉由揮選手の担当メカ池田伸也さん

大倉選手のメカニックを担当している池田です。大倉選手は物静かなライダーで、基本細かなリクエストをしてくるライダーではないんですが、シートの堅さだけはすごく気にするんです。だから洗車するときにはシートを外すようにしています。ビニール製のシートですが濡れるとフィーリングが変わるんです。SUGOはギャップがあるコーナーが勝負のポイントなので、フロントが刺さり気味にならないように注意しています。とはサインを出すときに、自信を持たせて気持ちよく走れるようにメッセージを送るくらいですかね。自分もライダーだったので、そういうメンタルの持って行き方が結果を左右すると思っています。

エキシビション開催の2st125 クラスも注目です。

今回注目を集めるもう一つのレースがエキシビション開催される 2st125 クラス。近頃は草刈り機くらいしか見かけなくなった2ストロークエンジンですが、かつては原付スクーターとか白煙を吐きながらピ～って走ってましたよね。今もレディースとジュニアクラスの85cc では使われていますが、特徴はシンプルな構造で高出力なこと。ただし4ストロークに比べて低速のパワーはないので、軽い反面コントロールが難しい。そんなバイクで元気に走ってしまおうというのがこのレースです。今回思った以上に好き者たちが集まったので、日曜日の昼に練習とタイム計測を行って、最後に A、B2 クラスで 15 分+1 周の決勝を行うとのこと。ライダーの平均年齢委高めですが、中には懐かしい名前もチラホラ。2st 独特の甲高い排気音とオイルの臭いを楽しんで帰ってください。

とはいえ、ず～～っとレースを見続けていたらさすがに疲れます。もちろんお昼休みもあるんですが、お目当てのライダーがいないときは、イベントブースやパドック巡りをぜひ楽しんでください。走行前のライダーとトイレでばっかりとか、走り終えたライダーをパドックに訪ねてポスターにサインをもらうとか、レース以外にも楽しみはいっぱいあります。

また、各メーカー様々なイベントや展示を用意してくれています。

ヘルメットやタイヤメーカーのサービスブースもお見逃しなく。カタログはもちろんポスターなどを配布していることも少なくないし、特性のノベルティグッズが貰えちゃったりもします。スタッフさんに性能や価格などを問い合わせるのもあり。忙しい時間でなければ必ず対応してもらえます。ちなみにメーカー毎に配布している応援用の旗は、持ち帰って 2 枚重ねて縫い合わせると、かわいい巾着袋が作れると近頃評判です。

バイク好き、メカ好きな方は、各ワークスチームにスタンバイするファクトリーマシンにも注目。いずれも先行開発車両で、全日本でしか見ることができないスペシャルマシンの数々です。テントに 2 台のマシンが置いてあったら、じっくりと見比べてください。ブリヂストンとダンロップ、ショーワと KYB、タイヤとサスペンションの違いはすぐにわかるはず。それ以外にも微妙にマシンの仕様が違っていたりするハズです。ワークスチームは、将来的な開発テストとライダーの好みに合わせた作り込みを同時進行させながら、マシンの性能を高めています。その違いに気づけたら、あなたのメカセンスはプロのエンジニア並みです。

「おやっ？」と思ったら思い切ってスタッフさんに質問しちゃいましょう。「それはちょっと答えられません。」と言われたら、それこそ大きな秘密が隠されているに違いありません。メカニックさんの仕事ぶりも、あまりの手際よさに見ていて感心しちゃうと思います。そんな全日本ならではのマニアックな楽しみ方もぜひ満喫してください。

今すぐ知りたい。MX の表も裏もレポートします。

全日本モトクロスの画像やインサイドレポートをリアルタイムで手元の携帯にお届けしている速報メールサービス「HYPER MXING」ですが、今年もやってます。料金は基本タダ（笑）。現地情報からレース後の裏話まで、モトクロス好きの期待を裏切らないサービスをご提供中です。

編集後記

締め切りのデスクの向こうはザーザー降りの雨。ニュースでは避難指示が連呼されてて、九州では鹿児島を中心にかなりの被害があったんですよね。雨でも雪でも開催されるモトクロスですが、その裏側には文字通り裏方さんの大変なご苦労があります。走り終えたドロドロのバイクを洗車するメカニックさんも大変ですが、コースを整備する重機のオペレーターさんや、安全なレース進行に欠かせないコースオフィシャルさんたちには本当に感謝です。

みんなモトクロスと言うこのスポーツが大好きで、大半がボランティア同然で協力してくれています。懸命に走るライダーもそうですが、モトクロスを盛り上げるために尽力してくれている、裏方さんたちにもぜひ声援を送ってください。

モトクロスだけでなく、二輪業界全体が厳しい時代を迎えています。なんとかこの苦境を乗り切って、こんなに楽しくて感動的なこのスポーツの魅力を繋いで行きたいし届けたい。MXING+PLUSは現在休刊中で、出す出す詐欺みたいになっちゃってますが、なんとか頑張ります。

今週末と来週末、インドネシアでは世界選手権が開催されます。その次の週はウィメンズ世界選手権に畑尾樹璃選手が参戦するチェコ GP。頑張れモトクロス！頑張れ自分 !!

MXING & MC Square 木田 淑

Arai HELMET
安全性能の追求！
株式会社アライヘルメット
〒330-0841埼玉県さいたま市大宮区東町2-12
TEL(048)641-3825
http://www.arai.co.jp/

RIDING SPOT PERFORMANCE PRODUCTS.
モータースポーツからツーリングまで
バイクライフをサポートする
(有)ライディングスポット
横浜市戸塚区上倉田1767
Tel.045-862-4878

suspension service Technix
www.technix.jp

全日本モトクロス新聞
MXING MOTOCROSSING
制作・発行／MC Square 木田 淑
〒970-1152 福島県いわき市好間町中好間中62
Tel. & Fax. 050-1536-5147
E-mail: kida@mxing.com
HP:http://www.mxing.com
出力・印刷／東京カラー印刷株式会社
〒120-0024 東京都足立区千住関屋町5-27
Tel. 03-5284-1173 Fax.03-5284-1174
HP:http://www.tcpc.co.jp
全日本モトクロス選手権大会毎発行・無料

PREVIEW-Sports Land SUGO

V12へ向かって驚異的な強さをアピールし続ける成田 亮とこれを必死で阻止しようと挑むライバルたち。シーズン前半を勝利で折り返すのは、果たして誰だ!? *Photo/K.Kida*

全日本モトクロス選手権シリーズ第4戦SUGO大会は7月6～7日に宮城県柴田郡村田町のスポーツランドSUGOインターナショナルモトクロスコースで開催される。全8戦の短期決戦となったシーズンは早くも中盤戦へ。IA1クラスは最多勝、最多タイトル共に前人未踏の記録を更新し続ける成田 亮が、IA2は初タイトルへと突き進む横山遥希がポイント争いをリード。IB Open、レディースクラス共に混戦のままシーズンのターニングポイントを迎えた。

モトクロス観戦を楽しむポイント

一、好きなライダーを一人見つけておく。
二、横一線、ド迫力のスタートを見逃すな!!
三、コースサイドから大声で応援しよう!!

絶好調の大ベテラン成田ライバルの追撃は果たして!?

ホンダのホームでチームメイト同士が激しい火花を散らした開幕戦九州大会。結果はタイトル奪還をめざす**山本鯨**（#400）がスタートから 1 度もトップを譲らぬ走りで両ヒートに圧勝。しかし第2戦関東大会では、ディフェンディングチャンピオン**成田 亮**（#114）が山本との激闘を制して今季初勝利をマーク。ランキングトップの座を山本から奪い取った。39 歳の大ベテラン成田の勢いは衰えを知らない。第 3 戦中国大会で通算優勝回数を157に伸ばした成田がポイントリーダーとして地元に戻ってきた。

もちろんこの牙城を崩そうとするライバルたちも黙ってはいない。現在ランキング 2 位の山本、カワサキワークスの**小方 誠**（#4 ／カワサキ）、前回大逆転で 2016 年以来の優勝を飾った**深谷広一**（#51 ／スズキ）、**星野優位**（#166 ／ヤマハ）、またヤマハのエースとして IA1 クラス 2 年目のシーズンに臨む**岡野 聖**（#8）らが懸命に成田を追いかける。

シーズンオフの怪我で開幕1～3 戦を欠場した**新井宏彰**（#331／カワサキ）や**小島庸平**（#44 ／ホンダ）、**大塚豪太**（#155 ／ホンダ）、**星野 裕**（#6 ／ホンダ）も優勝争いに加わりたいところ。国内最高峰のハイレベルなバトルを先ずは堪能して欲しい。

チャンピオン不在の IA2 は横山が主役の座に躍り出る！

昨年タイトルを争った**古賀太基**（#922 ／ホンダ）と**能塚智寛**（#33 ／ホンダ）が共に海外に活動拠点を移動したため、今年も王者不在となった IA2 クラスは、優勝候補の筆頭**小川孝平**（#912 ／カワサキ）までが開幕直前の怪我で長期欠場を強いられ混迷が深まった。そんな中、一躍存在をアピールしたのが**横山遥希**（#386 ／カワサキ）だ。アメリカ仕込みのライディングでアグレッシブな戦いを見せる横山は、開幕戦でパーフェクト V を達成すると、第2戦でも総合優勝を飾り一気にタイトル争いの主役へと躍り出た。

一方前回中国大会では**大城魁之輔**（#44 ／ホンダ）と**大倉由揮**（#36 ／ヤマハ）が共に A 級初優勝を飾り、大倉は 1 年間のブランクを経て復帰してきた**平田 優**（#81 ／ヤマハ）を捕らえてランキング 2 番手にポジションアップ。これに続こうとする**内田篤基**（#38 ／スズキ）や**鳥谷部晃太**（#37 ／ヤマハ）ら新世代ライダーたちにも注目が集まる。

本田と竹内が同点トップ混戦必至のLMXクラス

念願の初タイトルを手に**畑尾樹璃**（#1 ／ホンダ）が世界選手権挑戦を開始したことで、こちらもチャンピオン不在となったレディースクラス。そんな中、圧倒的な速さで開幕戦を制したのが**本田七海**（#6 ／ヤマハ）だ。2 年連続開幕戦優勝を決めた本田に対し、第 2 戦関東大会ではマシンをスズキからハスクバーナにスイッチした**久保まな**（#5）が優勝。また前回中国大会では 3 度目の王座返り咲きを狙う**竹内優菜**（#4 ／ホンダ）がシーズン初 V をマークしポイント争いでも本田に追い付いた。ランキング 4 位の**川井麻央**（#2 ／ホンダ）までが僅か 5 ポイント差にひしめき合う大接戦。彼女たちの熱いレースもぜひ間近に感じて欲しい。

国際 B 級やジュニア、チャイルドクラスも要注目。コースサイドの声援がレースを盛り上げる。大きな声とアクションで応援しながら、トップライダーたちの全力バトルを堪能して欲しい。

2019 全日本モトクロス選手権シリーズ スケジュール

第1戦	九州大会	4月13～14日	熊本県／HSR九州
第2戦	関東大会	5月11～12日	埼玉県／オフロードヴィレッジ
第3戦	中国大会	6月1～2日	広島県／グリーンパーク弘楽園
第4戦	SUGO大会	7月6～7日	宮城県／スポーツランドSUGO
第5戦	東北大会	7月20～21日	岩手県／藤沢スポーツランド
第6戦	近畿大会	9月14～15日	奈良県／名阪スポーツランド
第7戦	九州大会	10月12～13日	熊本県／HSR九州
第8戦	MFJ GP	10月26～27日	宮城県／スポーツランドSUGO

全日本モトクロス選手権 第4戦 SUGO大会 開催おめでとうございます。
HONDA
SUZUKI
YAMAHA Revs Your Heart
Kawasaki

携帯、スマホでこのQRコードにアクセスすると、今大会のタイムスケジュール、予選結果（決勝スターティンググリッド）、リアルタイムリザルト（決勝結果）の他、メーカー、チームの公式レポートやライダーのFacebookやTwitterなど、全日本モトクロス選手権シリーズに関する様々な情報にアクセスできるようになります。ぜひブックマークしてご活用ください。